

都市再生整備計画 事後評価シート  
沼津駅周辺地区

令和6年2月

静岡県沼津市

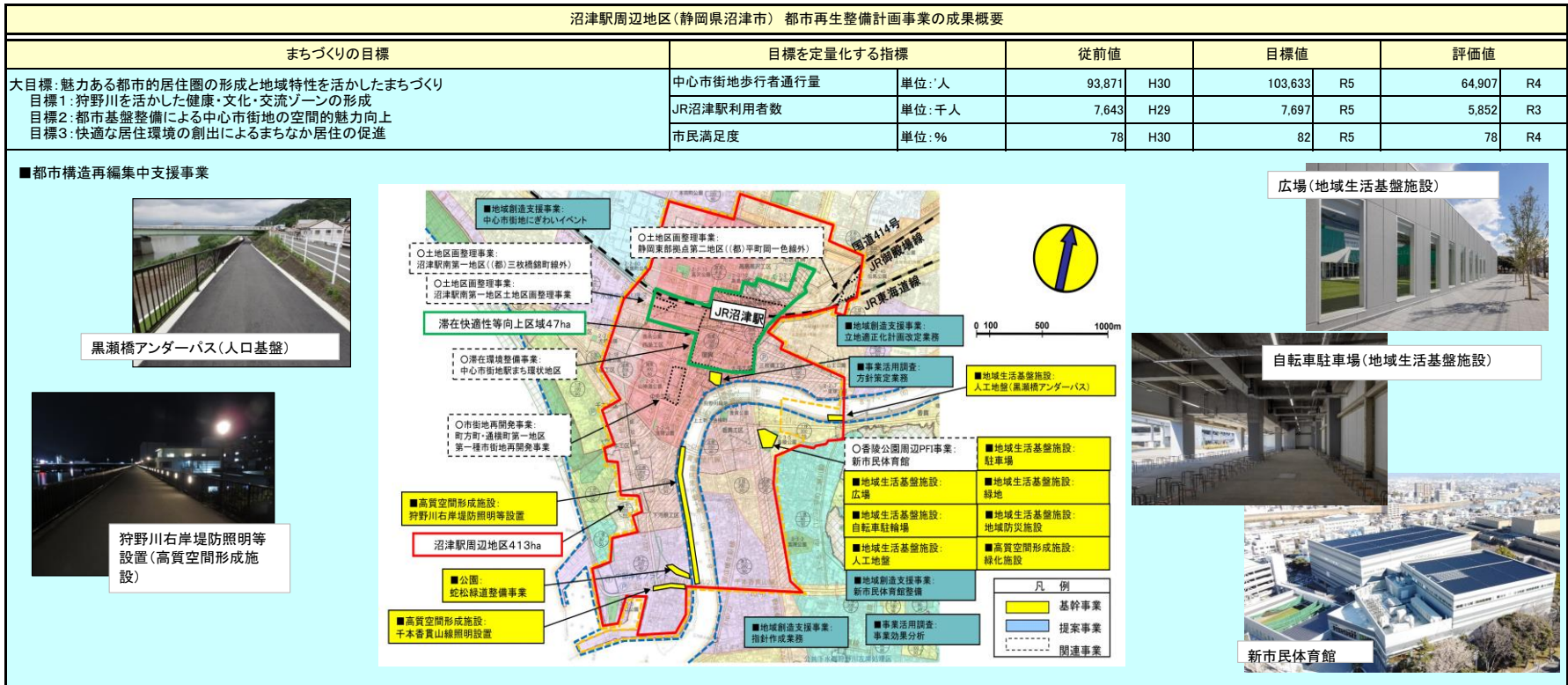
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名      | 静岡県   | 市町村名  | 沼津市   | 地区名  | 沼津駅周辺地区   |                        | 面積  | 413ha |
|------------|---|---|---|--|---|------------------------|---|-------|
| 交付期間       | 令和2年度～令和5年度                                       | 事後評価実施時期  | 令和5年度   | 交付対象事業費  | 都市構造再編集中事業<br>1326.9百万円<br>まちなかウォーカーブル推進事業<br>61.1百万円 | 国費率                    | 都市構造再編集中事業<br>0.50.45<br>まちなかウォーカーブル推進<br>事業0.5 |       |
| 1) 事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業                                  | 基幹事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【公園】蛇松緑道<br>【地域生活基盤施設】駐車場、広場、地域防災施設(耐震性貯水槽・防災備蓄倉庫等)、人工地盤(連絡通路)、人工地盤(黒瀬橋アンダーパス)<br>【高質空間形成施設】狩野川右岸堤防(永代橋～港大橋)                                   |  |   |                        |   |       |
|            |   | 提案事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【事業活用調査】事業効果分析   |  |   |                        |   |       |
|            |   | 事業名   |   | 削除/追加の理由   |   | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 |   |       |
|            | 当初計画から削除した事業                                      | 基幹事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【公園】中央公園   | 提案事業として民間事業者が携わる設置管理許可制度等の民間活力導入により整備するための方策を検討するため。   | 事業実施自体に変更はないことから影響なし                                  |                        |   |       |
|            |   | 基幹事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【高質空間形成施設】内膳堀  | 整備計画について、関係者との調整に時間を要しているため。   | JR沼津駅利用者数、市民満足度に影響するが、事業全体の複合的な要因で変動するため、数値目標は据え置く。   |                        |   |       |
|            |   | 基幹事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【高次都市施設】地域交流センター   | 当初は、新市民体育館のアーリーの一部を、市民の多目的な利用を促す室として整備、運営することを予定していたが、事業計画の進捗により地域住民の相互交流を主体とした利用が担保できないことから採択要件に合致しない可能性が高いため。  | 整備実施自体に変更はないことから影響なし                                  |                        |   |       |
|            | 新たに追加した事業   | 提案事業  | —   | —  | —   |                        |   |       |
|            |   | 基幹事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【地域生活基盤施設】緑地(新市民体育館整備)   | 新市民体育館整備(香陵公園周辺整備PFI事業)は、体育館の整備を通じたスポーツ・健康づくりの拠点整備と併せて、駐車場、広場等を一体的に整備し、文化・芸術活動の拠点、人がつながる交流の場、緑豊かな憩いの場、地域の安全で安心な生活を支える場の創出など多面的な施策効果の発現を目指すものである。             | 整備実施自体に変更はないことから影響なし                                  |                        |   |       |
|            |   |   | ■都市構造再編集中支援事業<br>【地域生活基盤施設】自転車駐車場(新市民体育館整備)   | ①当該箇所での緑豊かな憩いの場の形成のため。<br>②本事業区域と周辺の地域資源とのネットワークの強化を通じ、人がつながる交流の場の形成をより進めるため<br>③当該箇所での緑豊かな憩いの場の形成のため。   |   |                        |   |       |
|            |   |   | ■都市構造再編集中支援事業<br>【高質空間形成施設】緑化施設(新市民体育館整備)   | 狩野川右岸堤防照明灯設置に併せて、観光施設の沼津港と狩野川を結ぶ(都)千本香貫山線の照明灯を整備することにより、沼津駅から狩野川、沼津港へと駅利用者のルートが構築され、よりにぎわい憩い、やすらぎの空間の創出が図れるため。   | 整備実施自体に変更はないことから影響なし                                  |                        |   |       |
|            |   | ■まちなかウォーカーブル推進事業<br>【滞在環境整備事業】中心市街地まちづくり戦略事業(ウォーカーブル推進事業) | 本市の中心市街地は、今後本格展開を迎える沼津駅周辺総合整備事業により、交通環境や市街地構造が劇的に改善されることから、沼津駅周辺を車中心からヒト中心の魅力ある場所への再生を図るため、ウォーカーブル推進事業として、市民の行動や活動動態などを把握し、施策実施の効果を予測したうえで、施設配置、空間形成、交通施策を検討する。 | 整備実施自体に変更はないことから影響なし   |   |                        |   |       |
|            |   | 提案事業  | ■都市構造再編集中支援事業<br>【地域創造支援事業】指針策定業務   | 近年、全国各地において自然災害被害が広域化・甚大化していることなどを踏まえ、令和2年6月に都市再生特別措置法が一部改正され、立地適正化計画に「防災指針」を記載することとなった。本市においても、津波や河川氾濫による浸水被害が生じる可能性があることから、大規模な自然災害への対応がまちづくりにおいても重要であるため。 | 整備実施自体に変更はないことから影響なし                                  |                        |   |       |
| 提案事業       |   | ■都市構造再編集中支援事業<br>【地域創造支援事業】立地適正化計画改定業務                    | 令和5年度は5年ごとの評価時期を迎えることから、施策の実施状況に係る分析を行うとともに、計画策定後の総合計画をはじめとする各種計画の内容や取組などを現計画に反映させる必要があることや社会情勢の変化等を踏まえ、現計画を検証し改定するため。  | 調査・検討段階のため影響なし   |   |                        |   |       |
| 提案事業       | ■都市構造再編集中支援事業<br>【地域創造支援事業】中心市街地にぎわいイベント(市制100周年) | 市制100周年を迎えるイベントを開催し、にぎわいの創出を図るため。                         | JR沼津駅利用者数、市民満足度に影響するが、事業全体の複合的な要因で変動するため、数値目標は据え置く。   |  |   |                        |   |       |
| 提案事業       | ■都市構造再編集中支援事業<br>【地域創造支援事業】新市民体育館整備               | PFI事業で新市民体育館と香陵公園周辺整備を一体的に推進するため。                         | 整備実施自体に変更はないことから影響なし  |  |   |                        |   |       |



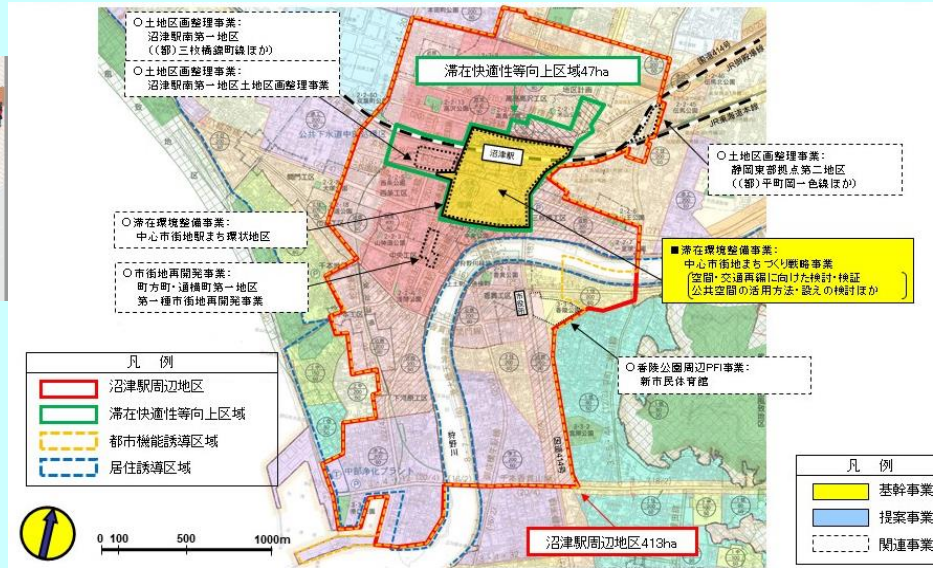
|   | 指標  |   | 従前値  |   | 目標値    |     | 数 値 |          | 目標達成度   | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因<br>(総合所見)  | フォローアップ<br>予定時期 |  |
|---|---|---|------|---|--------|-----|-----|----------|---|------------|---|-----------------|--|
|   |   | 単位  | 基準年度 | 目標年度  | モニタリング | 評価値 |     |          |   |            |   |                 |  |
| 3) その他の数値指標<br>(当初設定した数値<br>目標以外の指標)に<br>よる効果発現状況 | その他の<br>数値指標1   | 市総合体育館月平均利用<br>者数   | 人/月  | 20,117  | R1     | /   | -   | 22,618   | /   | /          | 旧市民体育館、勤労者体育センター、香陵<br>武道場の3施設を今回の新市民体育館に<br>機能集約した。統合前のR1の月平均利用<br>者数は20,117人であったが、統合後のR5年<br>3～5月は22,618人と増加しており、整備効<br>果が発現している。 | R6年度            |  |
|   | その他の<br>数値指標2   | 黒瀬橋アンダーパス付近<br>交通事故件数   | 件    | 2   | H30    | /   | 0   | 0        | /   | /          | 黒瀬橋付近の交通事故は1～2件程度あつ<br>たが、アンダーパスが整備された以降は0<br>件となり、整備効果が発現している。   | R6年度            |  |
|   | その他の<br>数値指標3   |   |      |   |        |     |     |          |   |            |   |                 |  |
| 4) 定性的な効果<br>発現状況                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津駅周辺地区において、狩野川を中心とした健康文化交流ゾーンの整備が進んでいる。</li> <li>・立体駐車場の整備が完了し、市役所や市民文化センターをはじめとした地域住民利用施設へのネットワーク整備が向上している。</li> <li>・新市民体育館の整備が始まり、市民の交流施設の整備に対する期待が高まっている。</li> </ul> |   |      |   |        |     |     |          |   |            |   |                 |  |
| 5) 実施過程の評価  | 実施内容  |   |      | 実施状況  |        |     |     | 今後の対応方針等 |   |            |   |                 |  |
|   | モニタリング  | 中心市街地歩行者交通量、JR沼津駅利用者数、市民満足度の<br>モニタリング  |      | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |        |     |     | ●        | 交付期間中の事業の効果を確認することができた。見込み値となる評価<br>指標はフォローアップにより目標達成度を確認する。  |            |   |                 |  |
|   | 官民連携による取組   | ○香陵公園周辺PFI事業<br>市民スポーツの拠点である新市民体育館の整備とその維持管理・運営<br>について、民間活力(PFI)を活用している。平成31年に事業者を決定<br>し、令和2年から工事に着手している。<br>○「中央公園再整備基本計画」の策定に向けた市民ワークショップ<br>「中央公園再整備基本計画」の策定にあたり、市民・利用者・民間事業<br>者等の幅広い意見を取り入れるため、令和4年度に全4回のワーク<br>ショップを開催し、中央公園の課題を整理した。 |      | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |        |     |     | ●        | ○香陵公園周辺PFI事業<br>第3期工事として、勤労者体育センター、香陵武道場、旧勤労青少年ホー<br>ムの解体を含む市民文化センター周辺の外構工事等を令和6年3月末ま<br>での期間で実施する。<br>○「中央公園再整備基本計画」の策定に向けた市民ワークショップ<br>民間活力導入検討(サウンディング調査等)や運営サポーター組織の構築な<br>どにより、持続的に管理・運営していくための体制づくりを推進する。<br>市民ワークショップの意見をもとに民間活力の導入を検討していくと<br>もに、中央公園再整備基本計画の策定を推進する。 |            |   |                 |  |
|   | 持続的なまちづくり<br>体制の構築  | ○沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会<br>「かのがわ風のテラス」「狩野川緑地」での、水辺ステージイベント、<br>バーベキュー、プライダル花火、カヤック体験等の開催   |      | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |        |     |     | ●        | 協議会は必要に応じて随時開催し、かのがわ風のテラス周辺管理、狩野<br>川階段堤防周辺にぎわい創出、イルミネーション設置、狩野川周辺の活用<br>促進に向けた検討、ホームページによる情報発信等に取り組むほか、市<br>は協議会の運営を継続して支援する。  |            |   |                 |  |

## 様式2-2 地区の概要



■まちなかウォーカブル推進事業

公共空間再編整備計画(中心市街地  
まちづくり戦略事業)



ワーキンググループ会議(中心市街地  
まちづくり戦略事業)



まちの課題の変化

- ・新市民体育館の整備が進むとともに、黒瀬橋アンダーパスや狩野川右岸堤防の整備により、沼津駅から狩野川、沼津港への周遊ネットワークの構築が進んでいる。引き続き、周遊ネットワークの構築に向けて、狩野川右岸堤防、蛇松緑道、(都)千本香貫線の整備を推進する必要がある。
- ・新市民体育館の開館や狩野川沿いの遊歩道整備、中心市街地にぎわいイベント(市制100周年)の開催など、地域の魅力を高めることができた。引き続き、蛇松緑道など、地域資源を活かしたまちづくりや中心市街地にぎわいイベントを推進する必要がある。
- ・黒瀬橋アンダーパスや狩野川右岸堤防(永代橋～港大橋)の整備により、歩行者が安心して歩ける歩行者空間が形成されている。中心市街地の幹線道路のバリアフリー化や歩道の整備を推進する必要がある。
- ・駅南第一地区をはじめとした駅周辺地区の整備により、駅・バス停周辺の環境整備が進んでいることから、引き続き中心市街地の土地区画整理事業の推進とともに、公共施設の整備、交通ネットワークの構築を推進する必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

本格的に動き出す鉄道高架事業と一体となりまちづくりを推進するとともに、整備した都市機能の利用を促し、交流人口の増加、にぎわいの創出・持続を図ることで、目標である首都圏からの静岡県の玄関口として、都市の顔としての魅力ある都市的居住圏の形成と地域特性を活かしたまちづくりを進めていく。